

# 「被害がまったくなかった」と回答

## 震災後、注目集める 防災機能付き賃貸住宅

東日本大震災3・11以降、入居者の防災への関心度が高まっている。その中で、実際「防災」を意識した賃貸住宅を提供している事例が出てきている。今回は事例と実際の入居者の反応について、紹介する。

### 免震構造賃貸住宅

つたとの回答を得たという。

### 「住み続けたい」93%

「倒壊することはないだろうと思います」「安心構造の良さが表れたいと思います」

「実はもともと最寄駅から徒歩4分くらいで、立地がよく、家賃も周辺相場並みだったこともあり、新築当初は『免震だから』という理由で入居

昨年3・11の大震災時の入居者に対して調査したアンケートでこのように回答を得られたのは、免震構造マンション「ヴェージュ ジョーホク」を建設した越野建設 部土屋貴之氏

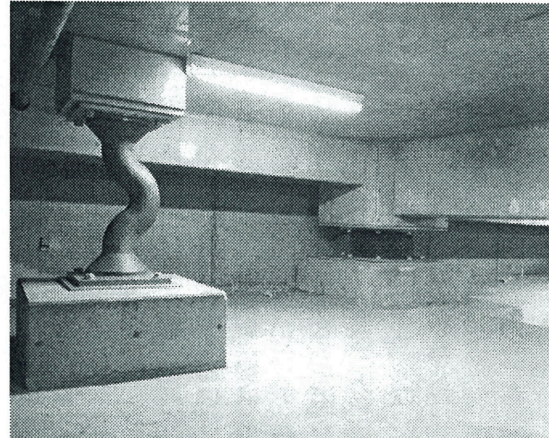
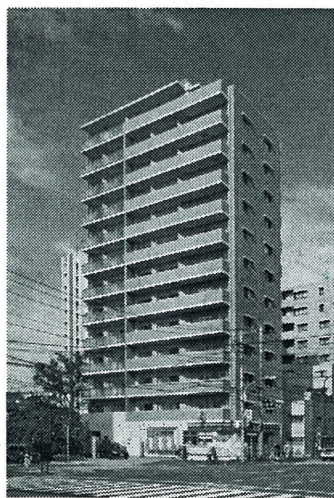
(東京都北区)だ。同マンションは地上13階建てのRC造で、免震構造のため、震災時は、大きくゆっくり横揺れした程度だった。全54戸。アンケートの結果、有効回答のうち

70%の入居者から被害がまったくなかったとの回答を、また30%の入居者から小物が落ちた程度だ

## 免震構造でもRC造10階以上の場合はコストアップしない

設置が通常のRC構造マンションよりもかなり高くない。「10階以上の高層マンション

ら、震災後、免震構造の同マンションに引越してきたという。免震構造と聞くと、建



◀▲RC造13階建て「ヴェージュ ジョーホク」の外観(左)と同マンションの地下免震ピット(右)

す」(土屋氏)

同マンションは常時ほぼ満室。「安心して住める」ことが近年、注目されていることが大きいようだ。

なお、同マンションの地下免震ピットを見学することも可能。免震構造の建物に設置される、地震によるエネルギーを吸収する装置、「積層ゴムアイソレーター」、鉛ダンパー、「弾性すべり支障」を見ることができ

全国賃貸住宅新聞 2012.4.2

[ 震災後、注目集める防災機能付き賃貸住宅 ]

・免震構造賃貸住宅「住み続けたい」93%

取材対応：越野建設株式会社

企画開発部 マーケティングチーム 土屋 貴之